

なんでもないや

「君の名は。」の主題歌

ふたり あいだ とお す かぜ
二人の間 通り過ぎた風は
どこから ^{さび}寂しさを ^{はこ}運んできたの
泣 ^ないたりした そのあとの ^{そら}空は
やけに ^す透き ^{とお}通っていたりしたんだ

とが ちち ことば
いつもは尖ってた父の言葉が
きょう あたた かん
今日は暖かく感じました
やさ えがお ゆめ かた かた
優しさも笑顔も夢の語り方も
し ぜんぶ きみ ま ね
知らなくて全部 君を真似たよ

すこ すこ
もう少しだけでいい あと少しだけでいい
すこ
もう少しだけでいいから
すこ すこ
もう少しだけでいい あと少しだけでいい
すこ
もう少しだけ くっついていようか

ぼく
僕らタイムフライヤー
とき か あ
時を駆け上がるクライマー
とき
時のかくれんぼ はぐれっこは もういやなんだ

うれ な かな わら
嬉しくて泣くのは 悲しくて笑うのは
きみ こころ きみ お こ
君の心が 君を追い越したんだよ

ほし ねが て
星にまで願って 手にいれたオモチャも
へ や すみ いま こころ
部屋の隅っこに今 転がってる
かな ゆめ きょう こ
叶えたい夢も 今日で 100 個できたよ
ひと こうかん
たった一つと いつか 交換しよう

しゃべ こ きょう
いつもは喋らない あの子に今日は
ほう か ご あした こえ
放課後「また明日」と声をかけた
な
慣れないことも たまにならいいね
とく
特にあなたが 隣にいたら

もう少し^{すこ}だけでいい あと少し^{すこ}だけでいい
もう少し^{すこ}だけでいいから
もう少し^{すこ}だけでいい あと少し^{すこ}だけでいい
もう少し^{すこ}だけ くっついていようよ

ぼく^{ぼく}らタイムフライヤー 君^{きみ}を知^しっていたんだ
ぼく^{ぼく}が ぼく^{ぼく}の名^な前^{まえ}を 覚^{おぼ}えるよりずっと前^{まえ}に

君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}にも
何^{なに}か^いの意^い味^みはき^きつとあ^あって
でも 君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}など
夏^{なつ}休^{やす}みのない 八^{はち}月^{がつ}のよう
君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}など
笑^{わら}うこ^ことない サン^{さん}タ^たのよう
君^{きみ}のい^いない 世^せ界^{かい}など

ぼく^{ぼく}らタイムフライヤー
時^{とき}を駆^かけ上^あがるクライマー
時^{とき}のかくれんぼ はぐれっこは もういやなんだ

なんでもないや やっぱりなんでもないや
今^{いま}から行^いくよ

ぼく^{ぼく}らタイムフライヤー
時^{とき}を駆^かけ上^あがるクライマー
時^{とき}のかくれんぼ はぐれっこは もういいよ

君^{きみ}は派^は手^でなクライヤー その涙^{なみだ} 止^とめてみたいな
だけ^{きみ}ど 君^{きみ}は拒^{こば}んだ
零^{こぼ}れるま^{なみだ}まの涙^みを見^みてわかった

嬉^{うれ}しくて泣^なくのは 悲^{かな}しくて笑^{わら}うのは
僕^{ぼく}の心^{こころ}が 僕^{ぼく}を追^おい越^こしたんだよ